

# SICE システム・情報部門 学術講演会 2011 サンプル原稿

○システム太郎 情報花子 (××大学)

## Sample Manuscript for SICE System and Information Division Conference 2011

\*H. Shisutemu and K. Joho (University of XX)

**Abstract**— This document describes the information for authors such as paper submission and the style of manuscript. Only PDF manuscripts are acceptable. The PDF manuscripts should be uploaded on the conference homepage. This document is a template file for a paper, although it is not necessary to strictly follow this format.

**Key Words:** Electrical paper submission, The style of manuscript

### 1 原稿の投稿方法

計測自動制御学会 システム・情報部門 学術講演会 2011 (SSI2011) では、原稿を PDF でご用意いただき、大会のホームページ<sup>1)</sup> からアップロードしていただきます。使用言語は日本語または英語です。

### 2 テンプレートファイルのダウンロード

SSI2011 のホームページ<sup>1)</sup> からテンプレートファイルをダウンロードします。pLaTeX2.09 または pLaTeX2e を使用される場合は、SICE-SSI.sty と sample.tex の二つのファイルをダウンロードしてください。sample.tex は pLaTeX2e と pLaTeX2.09 のどちらでもコンパイルすることができます。SICE-SSI.sty と sample.tex は EUC 版と SJIS 版の 2 種類を用意しましたので、それぞれの環境に応じてダウンロードするファイルを選択してください。Microsoft Word (以下 MS-Word と略す) を使用される場合は、template.doc をダウンロードし、原稿を作成してください。それ以外のワードプロセッサをご使用の方は、template.pdf をダウンロードし、原稿の体裁がなるべくサンプルと近くなるよう原稿を作成ください。

### 3 原稿の体裁

原稿は 2 ページ以上 6 ページ以下です。アップロードするファイルサイズに特に制限は設けませんが、あまりに巨大である場合、ファイルサイズの縮小をお願いする場合があります。

#### 3.1 全体の体裁

A4 用紙の (US Letter は不可)、縦 250 mm、横 170 mm の枠内に収まるようにしてください。余白は、上 20 mm、下 27 mm、左 20 mm、右 20 mm とします。活字の大きさは、日本語タイトル 16 ポイント、著者名、英文タイトルと著者名 12 ポイント、章タイトル 11 ポイント、節タイトル 10 ポイント、本文の活字 10 ポイントを目安としてください。原稿は、

- 邦文題名
- 邦文著者名 (登壇者に○印) と著者所属
- 英文題目
- 英文著者名 (登壇者に\*印) と英文著者所属
- 英文アブストラクト (100 ワード程度)
- 本文, 参考文献

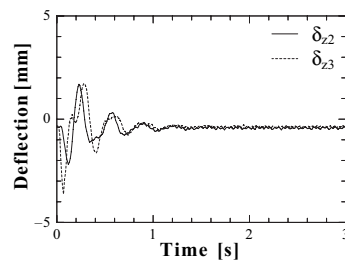


Fig. 1: A sample figure.

の順に書いてください。英文アブストラクトまでを 1 段組、本文・参考文献を 2 段組にしてください。

#### 3.2 図と表

図と表は、Fig. 1, Table 1 のように番号を振り (Fig. 1 参照)、図説、図中の説明文は英文で記入してください。本文で引用する場合も「Fig. 1 に示す」などのように Fig. と Table を使用してください。

図や表中の文字は小さくなりすぎないように気をつけてください。PDF 原稿を作成する際、図の画質が落ちないように、注意してください。特に Microsoft Word などでは原稿を作成する際、JPEG 画像を貼り付けると、一度圧縮されている画像が再圧縮されるので画質が劣化するようです。貼り付ける画像は、画質の良い (圧縮率の低い) 画像を用いるか圧縮しない画像フォーマットを選ぶなど、各自工夫し、最終的な PDF ファイルにおいて画像が劣化しないよう注意してください。

#### 3.3 参考文献

文献の引用は本文中に<sup>1)</sup> のように書き、本文の最後にまとめて記述します。次のフォーマットを推奨します。

(a) 雑誌論文の場合

番号) 著者: 論文題目, 雑誌名, 巻 (太字) -号, 始ページ/終ページ (年)

(b) 単行本の場合

番号) 著者: 書名, 始ページ/終ページ, 発行所 (発行年)

#### 参考文献

- 1) <http://www.sice.or.jp/~system/SSI2011/>
- 2) 松野, 中野: 第 7 回計測自動制御学会制御部門大会サンプル原稿, 第 7 回計測自動制御学会制御部門大会予稿集, 1/4 (2007)